

| 今月の不動産経済 (2021年6月)

● 不動産業の動向

前月比

不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	40.9 p	1.5 p ↗
-------------------------------	--------	---------

前年同月比

不動産業の倒産状況 ^{*1}	20 件	△ 42.9 % ↘
負債総額 ^{*1}	2,920 百万円	△ 63.0 % ↘

● 新設住宅着工数

前年同月比

新設住宅着工・総数 ^{*2}	76,312 戸	7.3 % ↗
持家	26,151 戸	10.6 % ↗
貸家	29,802 戸	11.8 % ↗
分譲	19,877 戸	△ 1.5 % ↘
内マンション	7,024 戸	△ 16.6 % ↘

● マンション市場の動向

前年同月比

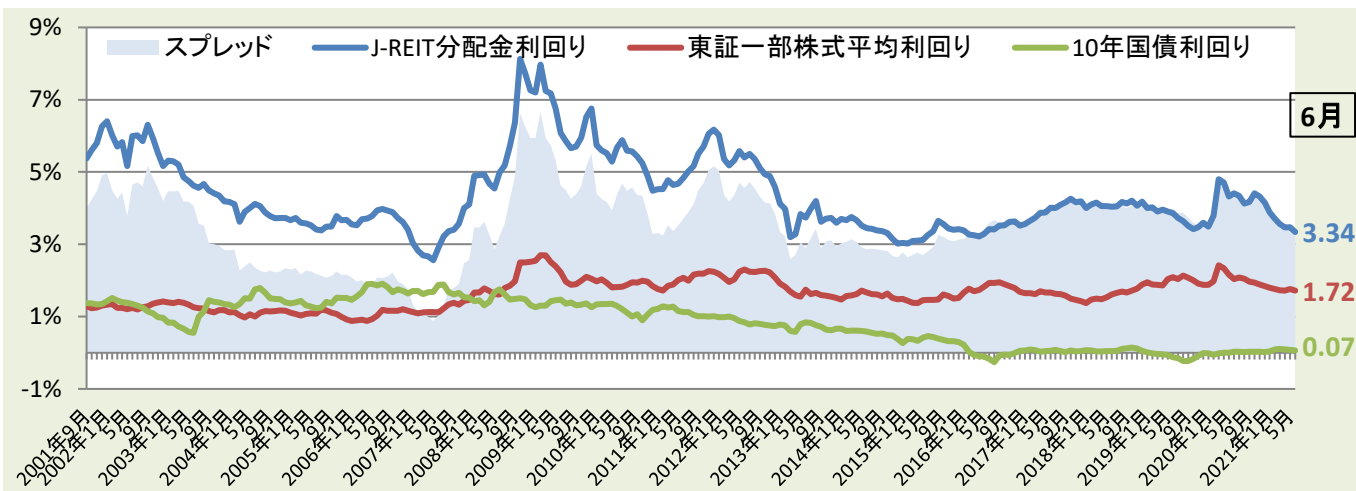
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,939 戸	25.7 % ↗
[契約率]	[72.5%]	△ 0.7 p ↘
平均価格	6,211 万円	△ 2.8 % ↘
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,731 戸	23.0 % ↗
[契約率]	[73.2%]	2.8 p ↗
平均価格	4,572 万円	26.7 % ↗
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	3,279 戸	4.8 % ↗
平均価格	3,873 万円	9.4 % ↗
[㎡単価]	[59.4万円]	11.1 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,551 戸	2.5 % ↗
平均価格	2,492 万円	10.0 % ↗
[㎡単価]	[36.3万円]	10.9 % ↗

● オフィス市場の動向

前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)

オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	21,160 円	△ 7.5 % ↘
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	6.19 %	0.29 p ↗

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 1.5p改善し 40.9pとなった。2ヶ月ぶりに改善。

新設住宅着工数は、4ヶ月連続で前年同月比増。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 25.7%増 (7ヶ月連続で増)。契約率は、72.5%。平均価格は同 2.8%低下 (2ヶ月連続で低下)。

近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 23.0%増 (6ヶ月連続で増)。契約率は、73.2%。平均価格は同 26.7%上昇 (2ヶ月ぶりに上昇)。

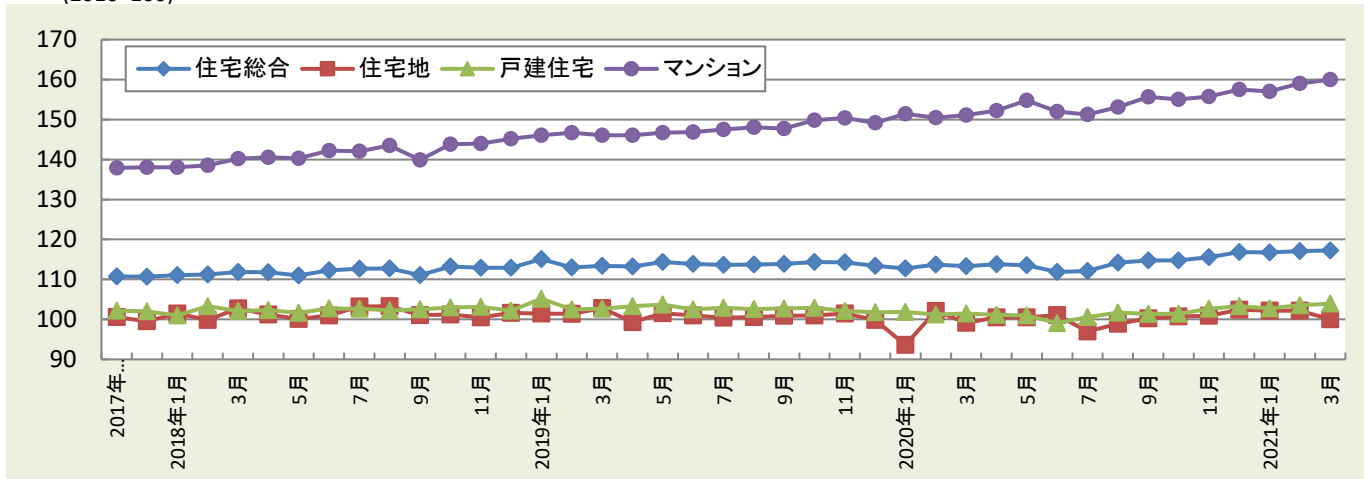
首都圏の中古マンション成約件数は 前年同月比 4.8%増 (4ヶ月連続で増)。

近畿圏の中古マンション成約件数は 同 2.5%増 (4ヶ月連続で増)。

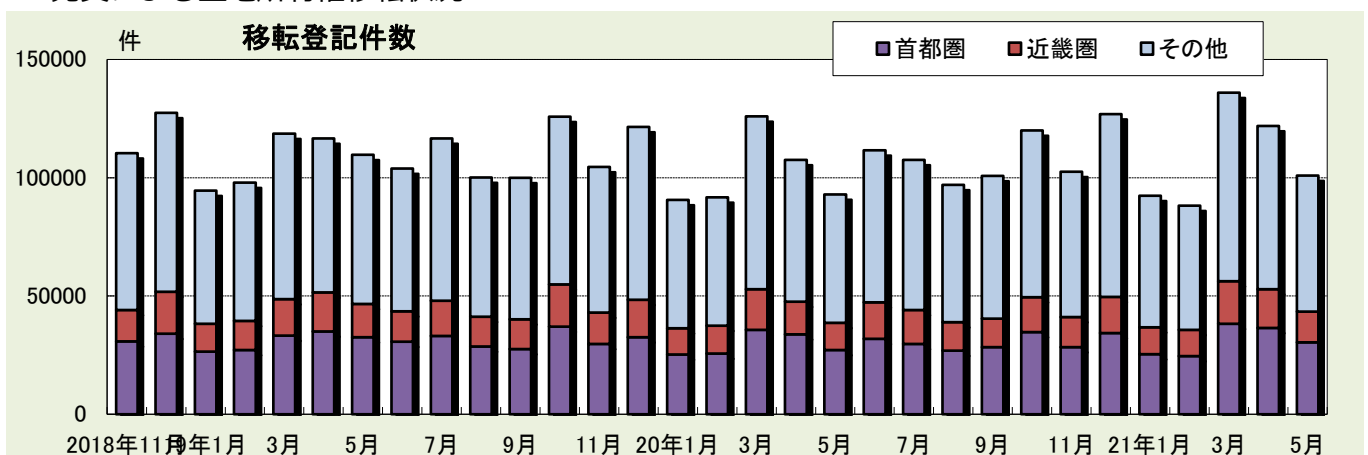
都心5区のオフィス賃料は 7ヶ月連続で前年同月比低下。オフィス空室率は前月比 0.29p上昇の 6.19% (16ヶ月連続で上昇)。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)